



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2019年12月 7日(土) 10時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコイング会員／13名(うち、午前のみ2名、午後のみ5名)、 その他1名、 事務局／1名、 計／15名

● 午前

今日は、朝10時に9名のメンバーが公園会議室に集まり、ミーティング後に公園内のコースに出て、いつものとおり昆虫を中心とした自然観察をしました。参加者は途中で1名増え、10名になりました。

今日は曇天で気温も低く、観察できた昆虫は種類も数も限られたものでした。

● 午後

午後は参加者の入れ替わりがあり、13名で先月に引き続いて薪作りに取り組みました。今日も、参加者が手分けして、公園内で伐倒されたコナラやアベマキを手ノコで輪切りにしたり、油圧式の薪割り機や斧を使って作業を進めました。2時間ほどの作業で軽四トラックにいっぱいの薪ができました。

初めて斧で薪割りに挑戦するメンバーもいて、最初は慣れない手つきでしたが、そのうち要領が分かって見事な「一刀両断」の技を見せるほど上達しました。

定刻の15時に作業を終え、会議室に戻って茶菓子と雑談でくつろいだ後、帰路に就きました。

- 次回の活動は、来年2月1日(土)の予定です。(1月は正月休みとします) 1年で一番寒い時期ですが、冬の自然を色々とお楽しみしたいと思います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



観察会参加者の集合写真



薪作り作業-1



薪作り作業-2



薪作り作業-3



できた軽四トラック一杯の薪



薪作り参加者集合写真



活動後に会議室でくつろぐ参加者



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園は、12月に入り曇り空で気温も低かった(この日の明石の最高気温は10℃に届かず)こともあり、昆虫はほとんど姿を見せず、成虫ではカメムシやコウチュウのなかまがいくつか観察できただけでした。そのほかに、カマキリの卵塊やガのなかまの幼虫が観察できました。

クヌギカメムシ



アオクサカメムシ



ツヤアオカメムシ



クロウリハムシ



オオカマキリの卵塊

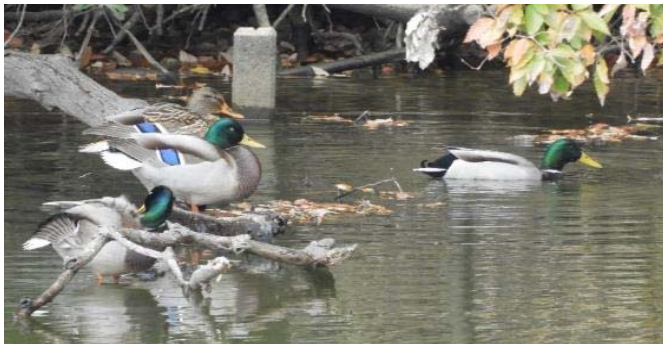


ハマオモトヨトウの幼虫



野鳥では、ふもとの北浦池にマガモやホシハジロの冬の水鳥が来ていました。公園内には冬鳥のジョウビタキのほか常連のシジュウカラやヤマガラが姿を見せました。

北浦池のマガモ



ホシハジロ(メス)



ジョウビタキ(メス)



シジュウカラ



ヤマガラ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

両生類では、寒さの中でアマガエルが出てきました。参加メンバーの指の暖かさが心地よいのか、指先にしがみついて動こうとしませんでした。

植物では、ヤマボウシの実が色づいていて食べると甘い味がしました。その実のすぐ横には、季節外れの花が何輪も咲いていました。また、ヤマツツジやスミレも季節外れの花を咲かせていました。そのほかに、公園が植えて育てているノジギクが満開で、カクレミノが黒い実をつけ、イロハモミジやドウダンツツジの葉が赤く色づいているのも見られました。

メンバーの指先のアマガエル



ヤマボウシの実と花



季節外れのヤマツツジの花



スミレの花



満開のノジギク



カクレミノの実



赤く色づいたイロハモミジの葉



ドウダンツツジの紅葉

